

○地域再生計画 事後評価結果

| | | | |
|------------------|-------------------------|------|-----------------|
| 地域再生計画の名称 | 安全で安心な「みなと・ネットワーク」の創出計画 | | |
| 地域再生計画の名称作成主体の名称 | 広島県・呉市 | 計画期間 | 平成17年度 ～ 平成21年度 |

| | |
|------|--|
| 計画概要 | <p>安全で安心な地域を再生するために、本計画において、台風等の荒天時に、中田港、釣土田港及び大地蔵漁港に避難できる『みなと・ネットワーク』を形成し、芸予地域で操業する小型船舶の安全を守り、広域避難を可能とする。</p> <p>地域交流拠点としての中田港では旅客ターミナル及び物揚場、泊地等の整備を行う。釣土田港では港内の安全を確保するために防波堤の改良を行う。大地蔵漁港では、防波堤延伸により港内静穏度を確保するとともに、より良い漁場環境を創出するための藻場機能を確保する。</p> |
|------|--|

| | |
|------|---|
| 事業目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 異常気象時の避難港整備。 2. 小型船舶の係留施設整備。 3. より良い漁場環境の創出。 |
|------|---|

| 目標の達成状況 | 内容 | 単位 | 従前値 | | 設計値 | | 実施値 | | 事後評価 | 効果発現要因 | | |
|---------|--|----|-------|------|-------|------|-----|-------|------|--------------------------------|---|----------------------|
| | | | | 基準年度 | | 基準年度 | | 基準年度 | | 総合所見 | | |
| 目標1 | 異常気象時の避難港として、避難隻数231隻の利用を可能とする。 | 隻 | 中田港 | 17 | 中田港 | 55 | 21 | 中田港 | 0 | 22 | △ | 計画値より実施延長が下回る結果となった。 |
| | | | 釣土田港 | 17 | 釣土田港 | 126 | 21 | 釣土田港 | 0 | 22 | | |
| | | | 大地蔵漁港 | 17 | 大地蔵漁港 | 50 | 21 | 大地蔵漁港 | 50 | 22 | | |
| | | | 計 | 17 | 計 | 231 | 21 | 計 | | | | |
| 目標2 | 中田港について、小型船舶の係留充足率を現況の35%に対し74%まで引上げる。 | % | 35 | | 74 | | 74 | | ○ | 計画どおり実施でき、利便性の向上が図れた。 | | |
| 目標3 | 大地蔵漁港について、漁船の係留充足率を現況の54%に対し61%まで引上げる。また、藻場機能を有する防波堤を整備し、より良い漁場環境の創出を図る。 | % | 54 | | 61 | | 61 | | ○ | 計画どおり実施でき、利便性の向上及び漁場環境の創出が図れた。 | | |

| | |
|------------|--|
| 総合評価と今後の方針 | <p>本計画に基づき実施した施設について、小型船舶の係留施設整備については計画どおり整備が完了し、係留施設不足を解消することができた。</p> <p>しかしながら、異常気象時の避難港としての整備は、大地蔵漁港を除く2港で計画値より実施延長が下回る結果となり、避難隻数を満足することが出来ない結果となった。</p> <p>※中田港と釣土田港については実施延長(防波堤整備延長)が計画を下回ったため、避難隻数は0隻とした。</p> <p>※上記計画の残工事を含めた新たな地域再生計画「瀬戸内の歴史・文化と景観が調査したみなとづくり計画」(計画期間:平成22年度～平成26年度)がH23. 3. 23付けで認定されており、継続して整備を実施している。</p> |
|------------|--|